

## 第1回「高校における竹島学習」のあり方検討会について

1. 日時 平成23年5月16日(月) 9:30~12:00

2. 場所 島根県市町村振興センター 小会議室

### 3. 総務課長挨拶

- 本検討に際しては、高校教育の指導に当たる県教育庁の指導主事や地理歴史科・公民科を担当する高校及び特別支援学校高等部の教員の参画が不可欠。
- 高校教育課に理解いただき、学校長を通じて、先生方に検討会への参画をお願いしたところ皆さんに快諾いただいた。御礼を申し上げます。
- 竹島問題研究会の最終報告書との関連上、年末を目途に検討の成果を出していただきたい。ご理解、ご協力をお願いします。

### 4. あり方検討会の運営方針について

- 別紙のとおり

### 5. 具体的な検討内容について

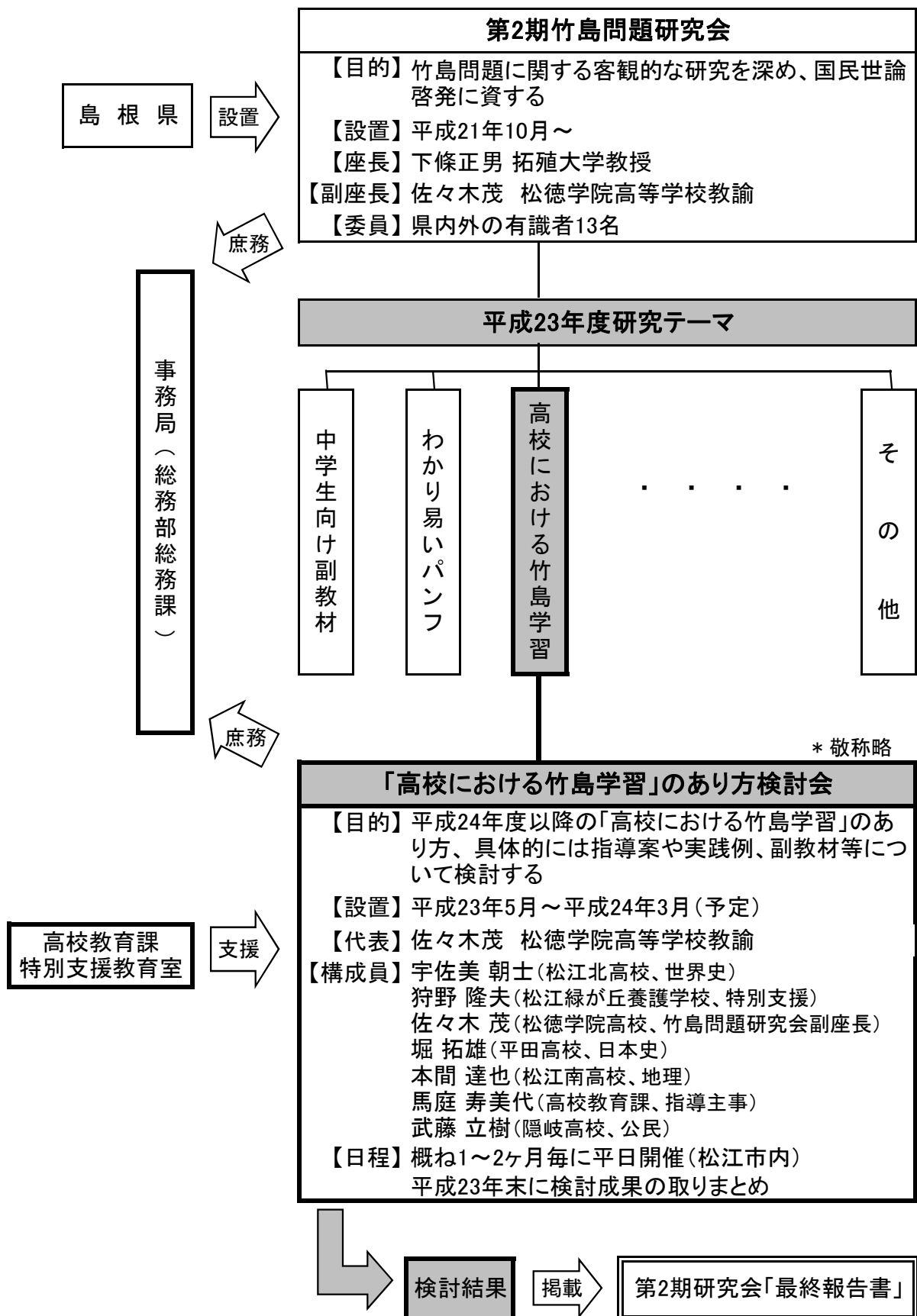
- 義務教育での授業を考慮し、高校の3年間では「現状を知る」「意見が言える」「解決に向け考える」をテーマにおく。
- 現在の小中学校向け副教材DVDとは別に高校向けのものがあるとよいが、将来的な課題とする。
- 検討会では、①~③を年内に取りまとめる方向で意見が集約された。
  - ①LHR(1~3年生)の指導案・副教材の作成
  - ②LHRの授業担任向けの指導書の作成
  - ③各科目の授業事例集(副教材含む)の作成
  - ④各科目の指導案については、①~③の検討の進捗を見て協議する。
- 次回は①について検討する。その際、円滑な会議進行のために、各自①の案を事前配布することとなった。

### 6. 次回検討会

- 7月1日(金)9:30~12:00、松江市内で開催

# 「高校における竹島学習」のあり方検討に当たって

H23.5.16研究会事務局



# 「高校における竹島学習」のあり方検討会 運営方針

H23. 5. 16 検討会決定

## 1. 目的

平成 24 年度以降の「高校における竹島学習」のあり方を検討する  
具体的には、次の事項について検討する

(1) 指導案 (2) 実践例 (3) 副教材 (4) その他

## 2. 構成員〔ふりがな順、敬称略〕

宇佐美朝士（松江北高等学校、世界史）

狩野 隆夫（松江緑が丘養護学校、特別支援）

佐々木 茂（松徳学院高等学校、竹島問題研究会副座長）

堀 拓雄（平田高等学校、日本史）

本間 達也（松江南高等学校、地理）

馬庭寿美代（高校教育課、指導主事）

武藤 立樹（隠岐高等学校、公民）

## 3. 組織

代表を置き、構成員の互選により選出する

代表は検討会を総理する

検討会は代表が招集し、議長となる。

## 4. 運営

代表が検討会に諮って定める

## 5. 日程

原則として、概ね 1～2 ヶ月毎に平日 3 時間程度、松江市内にて開催する  
検討の成果は平成 23 年末を目途に取りまとめを行い、第 2 期研究会の最終報告書（平成 24 年 2 月知事提出を予定）に掲載する

## 6. 旅費

構成員に対して、県の規定に基づき旅費を支給する

## 7. 検討会の庶務

総務部総務課において処理する

## 8. その他

定めのない事項については、検討会で協議のうえ決定する